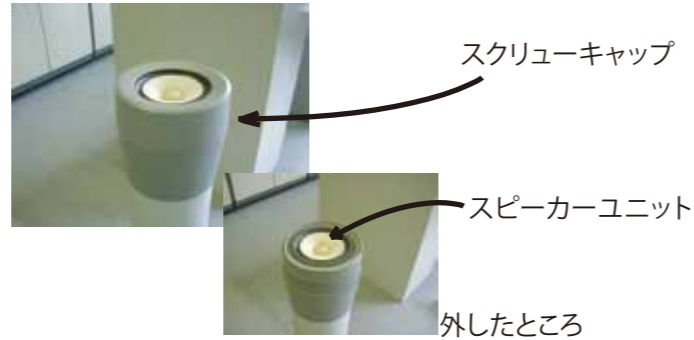


スピーカーユニットの交換方法

まずスピーカーを横にできて、天井までの高さがスピーカーの2倍の高さ(約2m)の作業場所を確保してください。

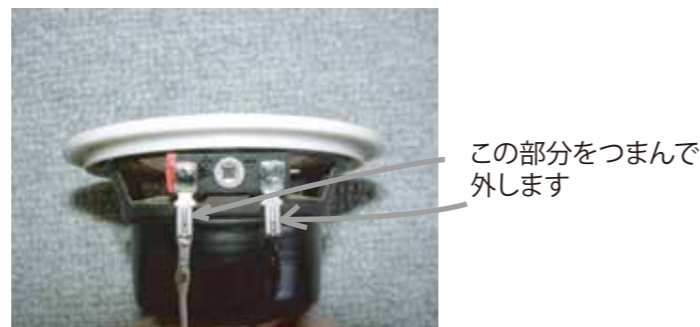
- 1) スピーカーを立てた状態で、スクリューキャップを外します。反時計回りに回すと外れます。



- 2) スピーカーユニットを少しだけ持ち上げます。スピーカーの下から手を入れて、中心の重り(写真1参照)を押し上げると簡単に持ち上がります。たとえば、右手で重りを持ち上げ、左手でユニットを支えるとよいでしょう。



- 3) その、持ち上げたままの状態ですピーカーケーブルとユニットの接合部分からケーブルを外します。スピーカーケーブルが外れたらそのまま垂直に持ち上げていきます。



※注意:必ず軍手や厚手の手袋を装着して作業していただきますようお願いいたします。特に吸音材に含まれるウイスカ(ヒゲ状結晶)によって切り傷を負うことがありますので、吸音材にはなるべく素手で触れないようお願いいたします。

- 4) スピーカーユニットと下部の重りに巻かれてある黄色い吸音材は接着されていますので、その接合面にカッターで切り込みを入れます。



- 5) 下部の重りはスピーカーユニットにねじ込まれています。少しかたいですが、片方の手でスピーカーユニットを、もう片方の手で重りを持ってゆっくりひねると外すことができます。

注意:必ず軍手を装着して作業してください。

- 6) スピーカーユニットを交換し、外したときと逆の手順で組み付けていきます。

振動板を手で触らないように十分注意して、スピーカーユニットに重りをねじ込みます。スピーカーユニットと重りの接合面はゴム系の接着剤を使って接着されていますが、通常お部屋に設置してご使用いただく場合は特に接着する必要はありません。なお、接着される場合はコニシ製のボンドG17をオススメします。

注意:スクリューキャップの内側やゲル(写真5参照)の周囲に液体が付着していることがあります。これはゲルから浸透圧の関係でしみ出ているシリコンオイル成分です。ゲル自身は医療用に使われているものと同じ成分ですので人体に悪影響はありませんが、外部に漏れると(特にスピーカーを横向きにすると漏れやすくなります)シミになることがありますのでティッシュペーパー等でふきとっておいてください。

- 7) ゲルを巻き込まないように注意しながら、ユニットを静かに筒の中に収めていき、スピーカーケーブルを接続します。

注意:スピーカーユニットにスピーカーケーブルを取り付ける際は左側(プラス側)が白いケーブル、右側(マイナス側)が黒いケーブルです。

- 8) スピーカーユニットが収まったら、スクリューキャップをきっちりしめてください。

注意:しめすぎると割れることがありますので、ほどほどに。